

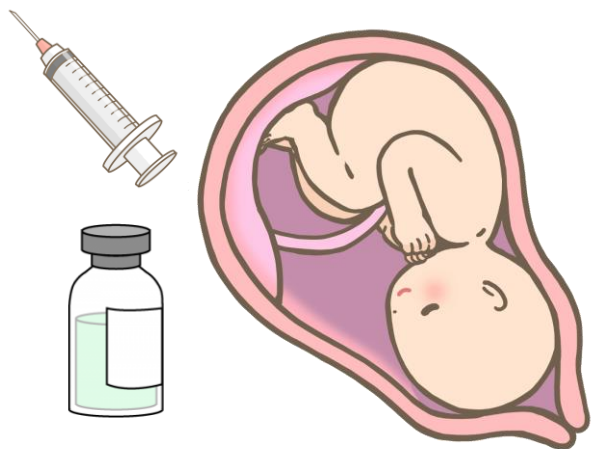


**新型コロナウイルス
ワクチン接種の
対象を拡大します**

すべての週数の妊婦さん、
褥婦さん
が接種対象になります。

ご希望の方は2F総合受付またはお電話で
ご予約ください。

妊娠中や産褥期の新型コロナウイルス ワクチンの接種は安全とされています



- ・流死産や早産、その他の妊娠異常の頻度はワクチンを打たなかった妊婦と同等です
- ・現時点で催奇形性の報告はありません
- ・受動免疫：抗体が胎児に移行し、母体だけでなく胎児、新生児も守られる可能性

＊ワクチンが胎盤や卵巣に作用することはありません

一方、妊娠中に新型コロナウイルスに感染すると入院隔離、肺炎、帝王切開、早産、母児分離等のリスクがあり、ワクチンで感染を予防する意義は大きいと考えます。

**妊娠初期も含めどの週数でも
安全に接種できます。**

**授乳中や、妊娠を計画中の方も
安全に接種できます。**

副反応について

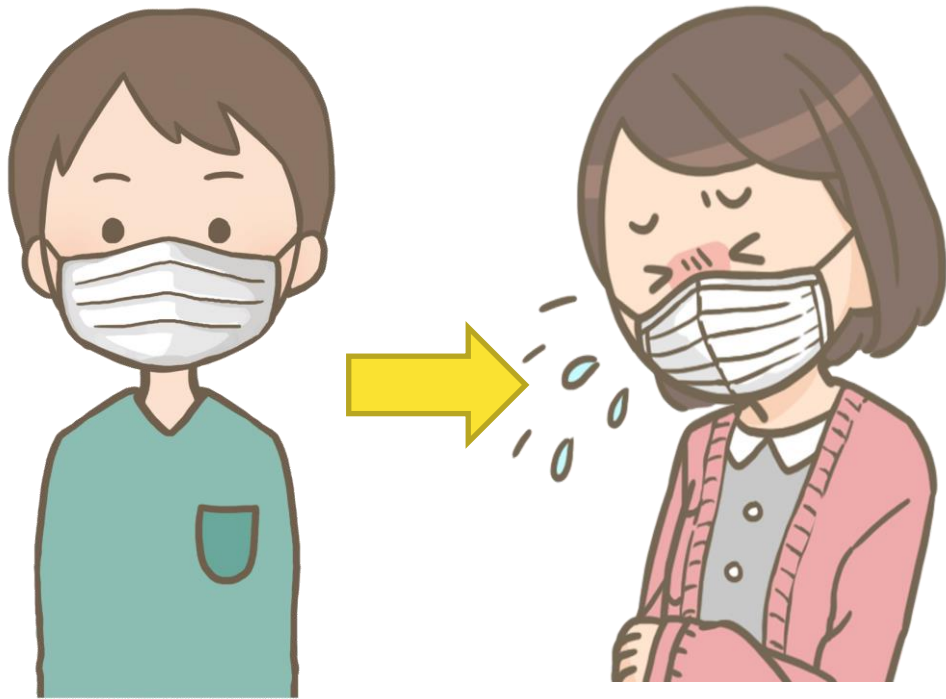


- 注射部位の疼痛や発熱は比較的よく認めますが、通常数日で軽快します。
- 鎮痛解熱剤としてアセトアミノフェンを服用できます。
- 接種後数日は倦怠感を感じる場合があります。無理をせず安静にしてください。

※アセトアミノフェンは妊娠中の解熱鎮痛薬として安全に使用できます。それ以外の解熱鎮痛薬(ロキソニン等の一般的な痛み止め)を妊娠中に使用する際は事前に担当医に相談して下さい。

ご家族の方へのお願い

妊婦の感染の8割は夫・パートナーからの感染です



夫・パートナーの方は
以下のご協力をお願いします

- ① ワクチン接種を受ける
- ② 日常生活において
感染対策を十分におこなう